

年
組
名前

国語科 / 小学校4年

2021年6月26日 中日こどもウィークリー

両生類対決 勝つのは？

#三重 カエル、イモリの天気予報

カエルとイモリが、天気予報で対決しています。三重県鳥羽市の鳥羽水族館で、8月末まで毎日続く両生類の戦い。どちらが勝つのでしょうか？

対決しているのは、水族館で飼うニホンアマガエル10匹とアカハライモリ10匹。カエルとイモリは、湿度に敏感です。雨が近づいてくると湿度が上がるので、カエルが静かにしている時は「晴れ」、よく動く時は「雨」の予報になります。



日の天気を占います。6月1～7日の的中率は、カエルの14%に対して、イモリは43%でした。イモリが優勢ですが、カエルの反撃も期待されます。飼育員は「身近な所にいるカエルやイモリに興味を持ってほしい」と話しています。(9日、中日新聞広域三重版に掲載)



ニホンアマガエルとアカハライモリ



問1 カエルとイモリが、翌日の天気を予報すると考えられる理由を、文章中から五文字で抜き出しましょう。

問2 次の1〜4に当てはまる符号を、後から一つずつ選びましょう。

ニホンアマガエル

静

↓

1

動

↓

2

アカハライモリ

水中

↓

3

地上

↓

4

あすの天気当たるかな？

- ア ☀ (晴れ) イ ☂ (雨) ウ ☁ (曇り)

1
<input type="checkbox"/>
2
<input type="checkbox"/>
3
<input type="checkbox"/>
4
<input type="checkbox"/>

問3 カエルとイモリの天気予報は、当たっていると思いますか。当たっていないと思いますか。あなたの考えを書きましよう。

【活用にあたって】

内容をつかむためには、書かれていることをまとめてみることです。これで答えやすくなります。

カエル 晴れ → 湿度下がる → 動かない (☀)
雨 → 湿度上がる → 動く (☂)

イモリ 水中にいる → 晴れ (☀)
水中から上がる → 雨 (☂)

このカエルとイモリの天気予報、当たっているのでしょうか。14%、43%という的中率をどうとらえるかですね。気象庁の的中率と比べてみたくありませんか。気象庁のデータを見ると、全国を対象とした降水の有無の的中率は、年平均 83%だそうです。

解答例

問 1 : 湿度に敏感

問 2 : 1 ア 2 イ 3 ア 4 イ

問 3 : カエルとイモリの的中率は、それぞれ 14%と 43%です。これだけの数字では当たっている、いないを判断するのは難しいですね。何かと比較するという考えが必要になり、調べなければなりません。

次ページに、2021 年 6 月 9 日付記事も掲載します。



ニホンアマガエル



アカハライモリ



あすの天気当たるかな？

二つの水槽内のニホンアマガエル十匹と、アカハライモリ十匹の様子を観察する。

飼育担当の青倉七雲さん

※ 半々の場合は ☘️ です…。

二つによると、雨だと湿度が上がることから動き、晴れだと湿度は下がるため動く。

かないという。水槽の中で、カエルがじっとしていると「晴れ」、活発に動いていれば「雨」。イモリは水中にいると「晴れ」、水中から上がって来れば「雨」と、それぞれ予報する。双方、動くものと動かないものが半々の時は「曇り」とする。

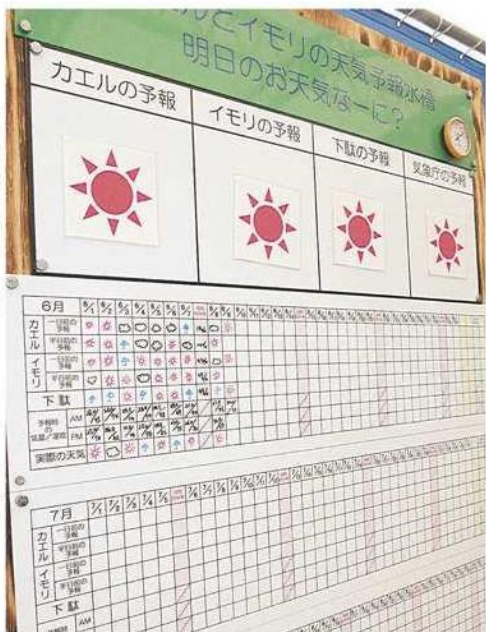
予報は一日二回。午前は一日前の予報、午後は半日前の予報として、ボードに記録している。

今月一〜七日の的中率は、いずれも一日前、半日前ともに、カエルは14%、イモリは43%で、イモリがやや優勢となっている。青倉さんは、「これからの健闘に期待する」とカエルへエールを送る。その上で「カエルやイモリは水族館の生き物としては地味かもしれないが、身近な所にいる存在。興味を持つてほしい」と話している。

鳥羽水族館（鳥羽市）は今月から、カエルとイモリが、翌日の天気を予報するイベントを催している。双方とも湿度に敏感で、天候の先行きを見通し行動する点を利用した。8月31日まで。

（北浜修）

鳥羽水族館、習性利用しイベント



天気予報を記録するボード。いずれも鳥羽市で



水槽を観察する青倉さん